

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	*	*	*
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・前年比で、売上は日商102%、来客数は96%、客単価は106%となっている。商材の値上げもあり、客単価は伸びているが、来客数は微減である。新型コロナウイルス流行前には戻らず、微減状態が続いている。日商はここ3か月くらい、微増で推移している。
	○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・回復傾向だが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、今後が心配である。
	○	競輪場（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者数が拡大し始めているなか、来場者が減少するかと心配していたが、今のところ減少傾向にはなっていない。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は全国と同様に、新型コロナウイルスの感染者が増大している。日を追うごとに増えている状態で、当地区もまん延防止等重点措置対象地域になっている。また、毎日、非常に寒い日が続いているので、人の動きは悪い。安い物を買っていると評判のスーパーなどは人の動きが少しあるようだが、大型スーパー等でも駐車場が空いている。
	□	百貨店（店長）	販売量の動き	・前年比の売上は3か月連続で100%超となるも、回復度合いは鈍い。
	□	スーパー（商品部担当）	単価の動き	・来客数減少、客単価上昇の現状は、新型コロナウイルス感染者が増加すると起きる現象で、一時の変化と捉えている。食料品の値上げや原油価格高騰と、厳しい話題は多々あるが、今のところ大きな変化はない。
	□	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今月は、前年と比べてスキー場に向かう客の動きが少し良くなっている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売は相変わらず軽自動車、乗用車为中心で、販売台数は低位安定である。ただし、整備売上は新型コロナウイルス以降もほぼ横ばいで、それが救いである。
	□	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・11～12月辺りは、当社は好調だったが、年明けから新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がひどく、当県で開催した冬季国体が終わったが、無観客で開催したので、観光客も来ない。観光地を控えて商売をしている当社としては、物産店、レストラン、飲食店関係、ホテル関係が全く振るわなかったあおりを受けて、販売量、サービスの在庫台数が極端に落ち込んでいる。
	□	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売が余り振るわない。活況はないが、ぎりぎり前年実績に近づいている。
	□	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・前年度との比較では、年末年始商戦は、新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きや気温の低下もあったため、来客数も伸び、販売数も上がっている。足元では急激な感染拡大が見られるが、今のところ、来客数にそれほどマイナスの影響はない。
	□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	来客数の動き	・冬季は北関東にある当店では降雪の影響が大きい。山沿いはかなりの雪が降っているが、平野部の降雪は少なく、10cmほどである。今年は、雪よりも寒さが厳しく、値ごろのブーツは売れている。今年はいまよくいきそうだとみていたが、新型コロナウイルスオミクロン株のクラスター発生の影響が出て、プラスマイナスゼロとなってしまっている。
	□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の報道の影響で、50代以上の常連客は、まん延防止等重点措置の適用前でも来店を控えているようだった。活気はなくなり、自然と客足は遠のく傾向である。
	□	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・曜日に関係なく、日ごとの繁閑の差が激しく、宴会も少人数が多数である。
□	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きは良くなったが、2年前の同月比では20%の減少である。	
□	通信会社（局長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者が爆発的に増えて、訪問販売員の足が止まっているため、販売量も下がっている。	

□	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響により、再度まん延防止等重点措置対象地域になったが、少し神経質になった程度で、特段変化はない。客の動向も3か月前と変わらない。
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・前月は新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、忘年会も多少は開催され、景気が回復の兆しを見せていた。今月に入り、新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大で、イベント等の開催中止や延期が相次ぎ、まん延防止等重点措置も適用されたため、景気回復はまだ先だと感じている。
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染に終わりが見えない状況で、良くも悪くもなっていない。
□	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・物流の滞りで予定が組めない関連業種の影響が大きい。販売量が悪い状況は続く。
□	住宅販売会社 （経営者）	お客様の様子	・企業が新規出店しようとしたところに、また、新型コロナウイルスの感染拡大第6波で、一旦全部中止となり、貸店舗等の契約が駄目になってしまった。やはり、皆、どうなるのかという不安の元で、出店を控える状況が多いような感じである。事務所関係でも、地方に出張所を出す予定のキャンセルが出ている。
□	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・客には、軽微な修繕で済むうちに実施するよう勧めてはいるが、見送られるケースが目立っている。生活防衛意識からか、家に関する事柄の優先順位がやや低いと感じる。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響がかなり大きいと思うが、やはり給料が上がっていないのが現実なのだろう。
▲	一般小売店〔青果〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が急激に増えたため、外食系、ホテル、式場等のキャンセルが相次いでいると聞いている。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・今月上旬は、前月からの堅調な流れを引き継いでいたが、中旬以降は新型コロナウイルス新規感染者の急拡大により、来客数、販売額共に失速している。当市はまん延防止等重点措置の対象地域に該当しており、新規陽性者数の拡大が続けば、更なる失速が懸念される。
▲	百貨店（営業担当）	それ以外	・現時点では新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況がかなりひどく、明らかに来客数が10～15%ほど減ってきている。それに比例して売上も減少傾向にあり、負の流れが継続している。食品は健闘しているが、非食品の落ち込みが目立ってきている。
▲	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大により、日々の来客数が減少している。
▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大してきたため、来客数が少なめである。
▲	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・半導体不足も落ち着き、車両納車の遅延も回復状況にあったが、新型コロナウイルス感染再拡大により、減産の影響で遅延が発生し、注文残の減少が出ている。
▲	乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者が急増しており、先行きが不透明なため、受注に至らない場合が増えているような気がする。
▲	住関連専門店 （店長）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、飲食店等で、時短営業が発生している。まん延防止等重点措置が発出されているが、感染が終息する兆しはないため、景気は上向きにはならない。
▲	一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・市内で新型コロナウイルスの感染者が日に日に増えており、ようやく戻ってきた客も、また少なくなってきている。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が地方で遅れていた分、現在増勢となっており、当面は影響が広がっていくものと思われる。事業所給食部門では、幼稚園、保育園の休園や通所型介護施設の利用低迷等により、提供食数の減少が懸念される。レストラン部門は、不急の外出抑制により利用減が続くものとみられる。

▲	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用中のため、2月末までは1件を残して全てキャンセルとなっており、新規申込もない。
▲	旅行代理店（所長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大の影響が大きく、せっかく盛り返してきた旅客の動きも減少に転じている。イベントの中止も徐々に発表されている。
▲	通信会社（経営者）	それ以外	・あらゆる物が品薄状態で、機器がない。それならば修理しようとするけど今度は部品がない。物がなければ売上は立たない。
▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、店舗への来客数減少の影響が出てきている。
▲	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・半導体不足などの影響で、売れ筋商材の入荷が滞っている。
▲	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・1月になって、新型コロナウイルスオミクロン株の感染増加の報道、まん延防止等重点措置の適用等で、歩く人がいなくなっている。
×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の話題をよく聞く。やっと回復し始めたのに、時期変更された修学旅行や旅行ツアー等の外出控えが目立っている。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・またたく間に感染拡大した新型コロナウイルスオミクロン株により、販売量も客の出足も極端に悪くなっている。例年1月は、初詣客でにぎわうが、ここ2年は売上の悪い月となっている。今年も1月5日までは人出もあつたものの、この日を境に、また売上激減の月となったため、景気は悪いと判断している。
×	百貨店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、店舗への来客数が減少している。さらに、まん延防止等重点措置対象地域となったことにより、来客数減少に拍車が掛かっている。
×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・年が明けてから、本当に客が出てこない。これも、新型コロナウイルスオミクロン株の相当な影響だとは思いますが、専門家が言っている科学的な根拠があつての話を、もっと前へ進めるような政治体制が整わないと、このまま更に悪くなるのではないかと実感している。本当に客が出てこない。毎日のようにゼロ更新で、これをどうして乗り切ろうかという感じである。
×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・全体としては前年比93%と低調に終わっている。新型コロナウイルス禍にあつて好調だった商品群は、洗濯機、クリナー、調理家電、理美容健康商材等で、厳冬による暖房器具も好調である。構成比の大きい冷蔵庫やテレビ等が低調である。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・12月は今までの自粛の反動で人が動き、回復していたが、新型コロナウイルスオミクロン株が急拡大し、また動かなくなってしまっている。「12月に動いて、色々とお金を使い過ぎた」という人も多い。
×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大が、悪くなっている最大の要因である。
×	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響なのか、1月下旬頃から来客数が激減してきている。
×	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・1月27日より、まん延防止等重点措置が適用され、ほぼ全ての予約がキャンセルとなっている。
×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波の影響で、宿泊、料飲共、キャンセルが多数発生している。11～12月と好調に推移していたのに、わずかな間に8～9月頃の悲惨な状況に戻ってしまっており、とても悔しい。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・現在、日勤での仕事をしている。午前中は、病院に行く高齢者の送迎で多少は動きがあるものの、午後からは、1時間に1回、営業ができる程度である。また、夜～深夜は、全くと言ってよいほど動かないと聞いている。新型コロナウイルスオミクロン株による感染拡大第6波で、ますます人出がなくなり、電車に乗っている人も少なくなっている。
×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスは、日増しに景気を悪化させ続けている。

	×	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・年末年始休暇までは良かったが、新型コロナウイルスオミクロン株の流行に伴い、急ブレーキのように来園者数が減少している。
	×	美容室(経営者)	来客数の動き	・通貨の総合力の指標である実質実効為替レートで、円が1972年の水準に下がっている。購買力が低下し資本は減少する。新型コロナウイルスオミクロン株は右肩上がりに増え、株価は下がる。株価が下がっても気にしないと平然と云ってのける経済再生担当大臣は必要なのだろうか。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・商談や受注件数、金額共に増加傾向にある。それに伴い、売上は増加しつつある。
	□	化学工業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格上昇が大きく、価格改定を余儀なく進めている関係もあり、様子見状態である。
	□	窯業・土石製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・年度内は大きな変化もなく、忙しく稼働する見込みである。
	□	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・売上が少なくなっている。はっきりした理由は分からないが、全ての取引先で売上が減っているのも、非常に困っている。
	□	金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・全体的に前年より10%増の受注状況だが、前々年比では30%ほど少ない。
	□	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・部品の入荷状況が日増しに悪くなってきている。当社もいつ全て止まってしまうか、もう綱渡りの状態である。1個1円の物を70~80円で買って、赤字覚悟で出荷しているようなひどい状況も出てきている。自動車メーカーの生産が止まるくらいだから、うちのような小さい会社が止まるのは当たり前かもしれないが、どうにもならない。
	□	輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・どちらとも言えない状況である。取引先が10社ほどあるが、受注が全くない、普通、やや多い、と各社ばらばらで、今後の受注や競争相手の様子等は全く分からない。
	□	輸送業(営業担当)	取引先の様子	・新生活用品の冷蔵庫、洗濯機等の白物家電やインテリアラック類の物量は前年並みに確保している。しかし、原油価格高騰により業務コストが増加しており、利益は薄くなっている。
	□	不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・寒波によるメンテナンスの増加がみられ、例年よりも作業依頼は増加傾向にある。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・静かな落ち着いた地域なので、余り起伏がなく堅実な動きをするが、今年も静かに年が明けて、例年どおりに推移している。
	□	社会保険労務士	取引先の様子	・緊急事態宣言解除後は回復してきていたが、ホテル等で行われる集まりなどの中止や延期が出始めている。また落ち込みそうである。
	▲	不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による定期業務の延期や従業員の感染による管理業務の減少により、売上が減少している。燃料費や資材価格の値上げによる経費増も続いており、減益額が拡大している。
	▲	広告代理店(営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大第6波の影響で、再度、観光、サービス業がピンチになっている。
▲	経営コンサルタント	それ以外	・長引く新型コロナウイルス禍で、自粛や規制続きのなかで、長年営業を続けてきた近隣の馴染みの飲食店や物販店までもが、閉店や廃業するケースが各地で表面化している。正月の一時だけ、街中、商業施設、観光スポット等に人出があったものの、感染拡大第6波の影響を警戒して、人々の流れが滞り出している。	
	×	一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・12月末に自動車関連の大幅減産情報が入り、ばん回計画が白紙となっている。既に作り込みを行っており、大量の仕掛在庫を抱え、対応に苦慮している。

	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党の政権誕生後、公共工事は順調に推移している。その後、前政権や現政権も同じ流れであり、業界としても有難い状況である。ただし、新型コロナウイルス禍のなか、国の財政を考えた場合、公共工事も多数の問題が生じるのではないかと懸念されている。また、長期政権の弊害が生じてきているように、議員の不祥事が後をたたく、国民として怒りを覚える。今期の公共工事発注額は前年比86%、当社受注額も前年比10%減と厳しい状況である。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・コンビニ等の販売員や、小売、生鮮食料品、青果等のスーパー等での求人が目立っている。年末年始に向けて募集が落ち着いている建設関連や製造業は稼働が止まっているので、動いているのは小売、販売等が多い。建築関連はひとまず落ち着いている状態で、堅調である。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・自動車関連、卸売業関連の求人が増加傾向にある。
	□	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・宿泊施設関係の取引先の話では、新型コロナウイルスオミクロン株によってまん延防止等重点措置が適用される前までの利用者数と比べると、適用後は各段に下がっており、キャンセル等も出て厳しい稼働状況だということである。
	□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・業種を問わず、求人数は増加傾向にあるが、人材不足である。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・自動車部品関連製造業では、半導体不足や東南アジア等からの部品供給不足が大きく影響し、受注減や納期が後ろ倒しになったりと、生産が落ち込む状況が続いている。加えて材料費の高騰があり、求人に影響している。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスが更に感染拡大し、懸念材料が増えて見通しがつかなくなった様子がうかがえる。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大により、生産が減少し求人数も減少したため、やや悪くなっている。
	×	*	*	*